

『第6回スキルアップ講習会』開催報告

熊本市支部長：東 利雄

第6回目となったスキルアップ講習会を平成28年3月19日（土）、熊本機能病院地域交流館 市民塾ホールにて開催しました。

テーマを「熊本県パラスポーツ強化指定選手（Kumamoto Para-Athlete Star；通称KPAS）医科学支援事業における指定強化選手に対する公認指導者有資格者の協力体制を考える」として行いました。



内容は、KPAS 医科学支援事業を中心になって取りまとめたこられた熊本県障害者スポーツ・文化協会の甲木秀典氏に「KPAS 医科学支援事業の取り組みを振り返って」と題し、今年度より全国

に先駆けて取り組みが始まった本事業の概要とこの1年間の取り組み、そして2020東京パラリンピックに向けた展望を語って頂きました。支援スタッフと指定強化選手の距離感をどう埋めていくか、また、指導者協議会の支援についても期待されていることを篤く語られました。

続いて、本事業において陸上競技の指定強化選手である藤嶋大輔選手に「熊本の障がい者スポーツ指導者へ期待すること」と題し、自らの競技生活を通して指導者へ伝えたい思いを語って頂きました。また、日常の練習における協力の呼びかけもあり、選手の生の訴えを聞くことができ有意義な講習会になったと感じました。

2020 東京パラリンピックに向け熊本県内から出場を目指す選手に対し熊本県が支援体制を推進すべく KPAS 医科学支援事業が開始されています。今回、本事業を中心的に担って来られた甲木市および指定強化を受けている陸上競技の藤嶋選手を講師に招聘しました。



障がい者スポーツ指導者の資格取得後に活動の場が無いといった話を聞く機会があり、指導者資格を持つ方々に県内～国内トップクラスの選手に関われる機会を持つこと

とで、活動の場の拡大に少しでも寄与できればと開催しましたが、残念ながら非常に参加者の少ない状況でした。

今回、6回目となった本講習会も会員数の割には毎回参加者が少なく、企画を思い悩むしだいです。養成講習会には毎年30名程度の参加があって資格取得をされているはずですが、資格取得後の活動（研鑽）の場の提供についても協議会として今後検討すべき課題であると感じています。



指導者の皆さんは、この現実をどう思われますか？是非、ご意見を事務局までお聞かせ下さい。